

2024年12月13日

Global Mobility Service 株式会社**経済産業省グローバルサウス補助金に採択決定！****フィリピン・カンボジアにおいて、車両盗難防止システムの社会実装を目指す**

車両の安全な遠隔起動制御システムを活用したサービスを、世界に展開する日本発のスタートアップ、Global Mobility Service 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：中島 徳至 以下「GMS」）は、経済産業省主催の、令和5年度補正「グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金（我が国企業によるインフラ海外展開促進調査：二次公募）」に採択されたことをお知らせいたします。

フィリピン・カンボジアにおける、車両盗難防止システムの市場性実証事業概要**背景：**

近年、電子技術の発展や半導体不足の影響により、車両盗難は国際的な課題として深刻化しています。特にフィリピンやカンボジアでは、犯罪組織による盗難が増加し、国民の生活や経済活動に多大な影響を与えています。GMSが開発した「SMART BLOCKER」は、安全な遠隔起動制御技術を搭載し、巧妙化す

る車両盗難手法に対応しています。本事業では、これらの地域において当システムを活用し、警察組織や警備保障会社との連携の可能性を追求します。これにより、犯罪抑止や警察力強化を支援し、車両所有者の財産保全を同国において強化することで、国家的な課題の解決に寄与する可能性を調査してまいります。

スケジュール(予定):

- 2025年1月～3月: 統計データ収集、調査パートナーの募集
- 2025年4月～9月: 実地実験の実施

今後の展望:

本調査を通じて、車両盗難のリスク防止と盗難車両発見の両方の機能を備えたIoTデバイスの有効性を明らかにし、フィリピンとカンボジアにおける車両盗難問題の撲滅に貢献するとともに、治安維持や財産保全に寄与します。また、その成果をグローバル市場に展開し、安心・安全な社会の実現に向けた取り組みを一層強化してまいります。



スマートブロッカーアプリイメージ

SMART BLOCKER

スマートブロッカー

安全な車両遠隔制御技術を搭載した車両盗難防止及び自動車両追跡IoTデバイス

【デバイス機能】

- 遠隔による自動車両の起動制御
- 走行中には起動制御がかからない**安全性第一**の設計
- 車両位置情報の**センシング**と追跡

【プラットフォーム機能】

- **スマートフォンのアプリ**で手軽に操作し防犯設定が可能
- オートジオフェンス機能やドア開け検知機能などによる**通知**が可能

Global Mobility Service 株式会社 概要

GMS は車両の遠隔起動制御システムを活用したサービスを提供する、グローバルスタートアップ企業です。日本国内及び ASEAN 諸国（フィリピン/カンボジア/インドネシア）において、まじめに働く低与信層の方々の就業機会を創出するファイナンスモデルや、巧妙化する車両盗難を最新の技術で防止するサービスなどを展開しております。弊社サービス利用車両の総走行距離は、2024年11月時点で10億kmを突破するなど、世界に大きなインパクトを与えております。また、2023年には経済産業省よりロールモ

デルとして J-startup Impact に選定され、2024 年 7 月には「国土交通スタートアップ賞」を受賞するなど、高い評価をいただいております。

当社の事業概要につきましては、下記動画をご参照ください。

<https://youtu.be/S9fXklbwYEY>



会社名：Global Mobility Service 株式会社

代表者：代表取締役社長 CEO 中島 徳至

所在地：東京都千代田区神田紺屋町 15 グランファースト 4F

設立日：2013 年 11 月 25 日

資本金：19 億 2,611 万円（資本準備金含む／2024 年 3 月 31 日時点）

URL：<https://www.global-mobility-service.com/>

事業内容：

車両遠隔起動制御 IoT デバイス「MCCS®」、データ分析プラットフォーム「MSPF®（モビリティサービスプラットフォーム）」を活用した金融包摂型 FinTech サービスの提供、車両盗難防止システムの構築、およびデータの二次活用サービスの提供

®登録商標 GMS、MCCS、MSPF は GMS の登録商標です。

<報道関係者様からのお問合せ>

Global Mobility Service 株式会社 広報グループ

E-mail：press@global-mobility-service.com